



姉妹都市交流の歩み ～いちき串木野市とサリナス市～



いちき串木野市国際交流協会
いちき串木野市サリナス市姉妹都市協会

目次

姉妹都市盟約と難民救済法.....	3
集団北米移住と姉妹都市盟約締結に尽力された方々	4
サリナス市	5
ジョン・スタインバック	6
スタインバックに関連する施設(1).....	7
スタインバックに関連する施設(2)/サリナスロデオ・エアショー	8
姉妹都市交流年表(1)	9
姉妹都市交流年表(2).....	10
姉妹都市交流年表(3)/受入・派遣事業/交流写真(1)	11
交流写真(2).....	12
体験談.....	13
北米移住・姉妹都市交流に関するスポット	14
ショーケースレイアウト図	15
サリナス市訪問団と桜	16
お問い合わせ先.....	17
参考資料	18

【いちき串木野市とサリナス市】



戦後、難民救済法施行を皮切りに、当時本市出身者を含む多くの鹿児島県民が米国へ渡りました。当時、本市出身の約 70 名がサリナス市に移り住み、カーネーション農家や庭師等に従事し、成功を収めました。日系 2・3 世移住者の志を若い世代へ引き継ぎ、国際感覚を持った青少年の育成を目的に、1979 年(昭和 54 年)5 月 27 日、旧串木野市とサリナス市との間で姉妹都市盟約を締結。同年 6 月 19 日の、串木野市サリナス市姉妹都市協会発足から現在に至るまで、中高校生や親善友好訪問団の派遣・受入を実施しています。

また新市誕生後、2006 年(平成 18 年)8 月 4 日に「いちき串木野市」として再締結を果たし、2019 年(平成 31 年・令和元年)には、姉妹都市盟約締結から 40 周年を迎えました。

【難民救済法】



1953 年(昭和 28 年)ヨーロッパ諸国で迫害を受けている政治難民を、米国で保護し受け入れるという時限法が制定されました。朝鮮戦争中、数多くの戦災孤児の養子縁組移民を受け入れる動きもあり、日本では 1955 年(昭和 30 年)に、アジア難民救済法が施行されました。鹿児島県では、生福出身の内田善一郎氏や薩摩山出身の湯永耕一氏などの本市出身者をはじめ多くの方々のご尽力により「北米集団移住」並びにサリナス市との「姉妹都市盟約締結」が実現しました。

【北米集団移住と姉妹都市盟約締結に尽力された方々】

☆内田 善一郎 氏



○1921 年(大正 10 年)12 月 3 日生まれ

○旧串木野村 生福出身

○1950 年(昭和 25 年)串木野市議会議員に選出され、1953 年(昭和 28 年)には農業実習生として渡米。日本への難民救済法適用の為、外務省やアメリカ大使館と幾度の粘り強い交渉の末、1955 年(昭和 30 年)に成立させた。このことから別名「カルフォルニア移民の父」と呼ばれる。

☆瀧永 耕一 氏

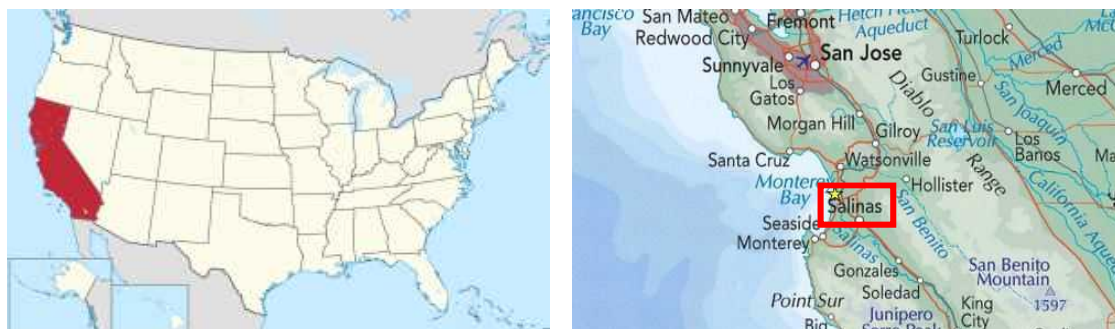


○1932 年(昭和 7 年)2 月 2 日生まれ

○旧串木野市 薩摩山出身

○サリナス・串木野姉妹都市協会設立委員や沿岸鹿児島県人会役員を務めるなど、献身的に姉妹都市盟約実現の為、反対派に対し根気強く説明を行い、意見を取りまとめ、最終的にサリナス市議会から全会一致を取り付けたリーダー的人物

【サリナス市】(Salinas)



サリナス市はアメリカ合衆国・カリフォルニア州中部、モンレー郡に位置し、人口約 15 万人あまりの都市です。花や野菜の栽培に適した土壌で、穏やかな北西風の温暖な気候に恵まれ、レタスの産地として知られています。また、「エデンの東」や「怒りの葡萄」など多くの作品を残し、ノーベル文学賞受賞者である「ジョン・スタインベック」の生まれ故郷でもあります。

☆レタスの産地

”世界のサラダボウル”(The Salad Bowl of The World)

カーネーションやレタス、いちご栽培に適した土壌で、穏やかな気候に恵まれ、レタスの産地として知られています。アメリカ国内で生産されるレタスのうちサリナス産は国内シェアの 80%を占めています。

【モンレー郡】(Monterey County)

サリナス市を含む 24市が属すモンレー郡は、ゴルフ全米オープンの開催地である「ペブルビーチ」や「モンレーベイ水族館」等があり、観光地として知られています。

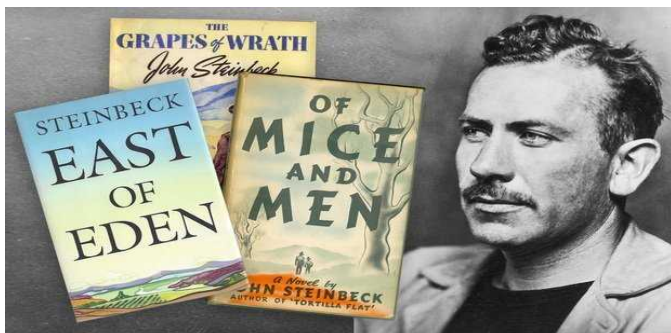


Pebble Beach



Monterey Bay Aquarium

【ジョン・スタインバック】



サリナス市出身 1902 年(明治 33 年)2 月 27 日生-1968 年(昭和 43 年)12 月 20 日没

1940 年(大正 15 年)、代表作『怒りの葡萄』でピューリッツァー賞受賞。

その後 1962 年(昭和 37 年)にはノーベル文学賞受賞。

☆ジョン・スタインバックに関連する施設

①ジョン・スタインバック生家(The Steinbeck House)



～ スタインバックハウスについて ～

○1897年版(明治 30 年)クイーン・アン建築様式を採用(Queen Anne Style Victorian)

○1897年(明治 30 年)建造。3年後の 1900 年(明治 33 年)に、ジョンの祖父母(Adolph and Almira Steinbeck)がこの一軒家を購入。1908 年(明治 41 年)には、両親(John E. and Olive Steinbeck)が購入後、The Valley Guild(非営利・ボランティア団体)が買い取り改修後、ジョン生誕 72 周年記念時にレストランとしてオープンしました。

○部屋数:15 ○平米数:4,000 平方フィート(約371 m²) *1平方フィート…0.929 平方メートル

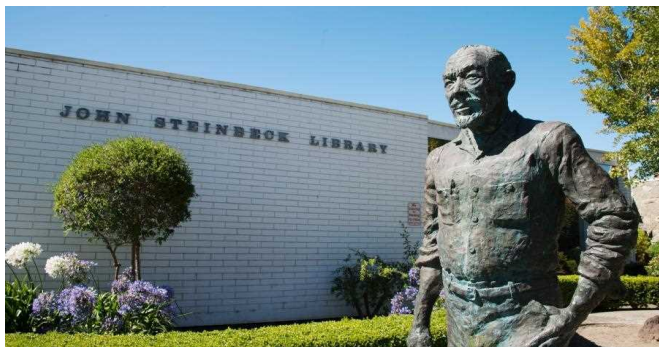
○写真はレストランとして改装されたスタインバック生家

♡レストランの営業日は毎週火曜～日曜日(A.M.11:30～P.M.2:00)

レストランでは、2か月おきにあるスペシャルイベントが土曜日の夜に開催され、ディナーや様々なフレイバーティーを楽しむことができます。

☆The Best Cellar Gift Shop(お土産屋)も同建物内にあります (A.M.11:00～P.M.3:00)

②ジョン・スタインバック図書館(John Steinbeck Library)



スタインバックの小説集は勿論のこと、10万冊以上の本や日本語を含む様々な言語の雑誌、新聞等様々なツールをご利用できます。他にも、ティーン向け言語コンソールゲームシステムやリテラシーコンピューター局を完備。

また館内には、スタインバックが描いた絵画も展示されています。

③国立ジョン・スタインバックセンター(National Steinbeck Center)



○1998 年開館(平成 10 年)

○常設展示は、スタインバックの主要作品が、テーマ毎に展示されており、

小説家を目指すことになった品々や作中にててくる品々などをご覧いただけます。

【カリフォルニアサリナスロデオ(California Rodeo Salinas)】



カリフォルニア最大級のサリナスロデオは、毎年全米各地から多くの観客が訪れます。ロデオはアメリカやメキシコが起源とされており、元々はカウボーイ達が労働後、彼らが飼っていた家畜を競わせたことがはじまりとされています。サリナスでは、1991年(明治 44 年)にシャーウッドレーストラックで、当時人気だった「ワイルド・ウェスト・ショー(Wild West Show)」が開催されました(「ビッグウィーク(Big Week)」)。

この出来事を機に、翌年には、地元のカウボーイやカウガールがバッキングホース(Bucking Horses)に乗馬し競いあうことを中心としたロデオを展開し、4,000 人の観客を動員しました。以降、多くのプロ選手が誕生し、2008 年にはサリナスロデオがプロ殿堂入り(Pro Rodeo Hall of Fame)を果たしました。

【カリフォルニアインターナショナルエアショー(California International Airshow)】



1981 年(昭和 56 年)から地域慈善活動の一環として、サリナスで航空ショーが始まりました。アメリカ海軍(USN)アクロバット飛行部隊「ブルーエンジェルズ(Blue Angels)」飛行パフォーマンス、軍用機・民間機の展示飛行をご覧ください。

【姉妹都市交流年表】

❖ 姉妹都市 サリナス市との交流年表 ❖			
西 暦	年 月 日	い ち き 串 木 野 市	サ リ ナ ス 市
		姉 妹 都 市 盟 約 締 結	
1979	昭和54年5月27日		
	昭和54年11月1日 ～10日	親善使節団 渡米 (吉尾藤逸一行47名)	
1980	昭和55年10月1日 ～2日		市制30周年記念親善訪問団 (ロバート・ウェット市議一行23名)
1983	昭和58年6月20日 ～26日		サリナス市アリサル地区 教員団一行 7名 来市
	昭和58年11月5日 ～14日	親善使節団 渡米 (塚田市長一行23名うち議員 9名)	
1985	昭和60年10月23日 ～30日	親善訪問団 渡米 (湯村四男副会長一行 9名)	
1987	昭和62年5月12日 ～13日		サリナス市長 ジェームス・B・バーンス 夫妻 来市
	昭和62年6月24日 ～7月4日		第1回サリナス市高校生 来市 (高校生8名・引率2名)
1989	平成元年4月14日 ～17日		姉妹都市盟約10周年記念訪問団 (ラッセル・ジェファリーズ 市長一行36名)
	平成元年11月2日 ～10日	視察親善訪問団 渡米 (北山議長一行 34名)	
1990	平成2年7月12日 ～23日		第2回サリナス市高校生 来市 (高校生8名・引率2名)
	平成2年7月23日 ～8月5日	第1回高校生米国派遣 (高校生10名・引率2名)	
	平成2年9月30日 ～10月3日		市制40周年記念親善訪問団 (ラッセル・ジェファリーズ 市長一行25名)
1992	平成4年3月26日 ～4月5日	第2回高校生米国派遣 (高校生8名・引率2名)	
1993	平成5年6月26日 ～7月5日		第3回サリナス市高校生 来市 (高校生6名・引率2名)
1994	平成6年3月26日 ～4月5日	第3回高校生米国派遣 (高校生8名・引率2名)	
	平成6年10月25日 ～11月4日	姉妹都市盟約15周年親善訪問団 (古川議長一行39名うち議員11名)	
1996	平成8年3月26日 ～4月5日	第4回中高校生米国派遣 (中学4名・高校4名・引率2名)	
1997	昭和9年6月26日 ～7月4日		第4回サリナス市高校生 来市 (高校生7名・引率2名)
1998	平成10年3月26日 ～4月5日	第5回中高校生米国派遣 (中学1名・高校7名・引率2名)	
1999	平成11年7月28日 ～8月4日		第5回サリナス市高校生 来市 (高校生5名・引率2名)
	平成11年7月31日	姉妹都市20周年記念 サリナスフェア	
	平成11年9月30日 ～10月5日	姉妹都市20周年親善訪問団 (富永市長・吉見議長一行45名)	
2000	平成12年8月4日 ～17日	第6回中高校生米国派遣 (中学4名・高校4名・引率2名)	
	平成12年9月29日 ～10月3日		市制50周年記念親善訪問団 (アンナ・カバイエロ市長一行30名)

西 暦	年 月 日	い ち き 串 木 野 市	サ リ ナ ス 市
2001	平成13年7月3日 ～12日		第6回サリナス市高校生 来市 (高校生6名・引率2名)
2002	平成14年8月6日 ～20日	第7回中高校生米国派遣 (中学5名・高校3名・引率2名)	
2003	平成15年7月13日 ～21日		第7回サリナス市高校生 来市 (高校生8名・引率2名)
2004	平成16年8月5日 ～19日	第8回中高校生米国派遣 (中学6名・高校2名・引率2名)	
	平成16年9月30日 ～10月7日	姉妹都市25周年親善訪問団 (田畑市長・吉尾議長一行18名)	
2005	平成17年7月17日 ～25日		第8回サリナス市高校生 来市 (高校生9名・引率2名)
2006	平成18年1月26日 ～31日	北米移住50周年記念式典 参加訪問団(竹之内議長一行6名)	
	平成18年2月3日 ～8日		新市誕生 親善訪問団 (サリナス協会長一行4名)
	平成18年8月3日 ～17日 (訪問団:7日迄)	第9回中高校生米国派遣 (中学1名・高校7名・引率2名) 姉妹都市盟約調印訪問団 (田畑市長一行4名)	
2007	平成19年7月19日 ～26日		第9回サリナス市高校生 来市 (高校生7名・引率1名) 市支配人補佐一行訪問4名
2008	平成20年8月5日 ～20日	第10回中高校生米国派遣 (中学4名・高校4名・引率2名)	
2009	平成21年7月19日 ～28日		第10回サリナス市高校生 来市 (高校生10名・引率2名)
2010	平成22年2月2日 ～9日	姉妹都市30周年親善訪問団 (田畑市長・竹之内議長一行17名)	
	平成22年8月5日 ～18日	第11回学生米国派遣 (中学1名・高校4名・大学1名・引率2名)	
	平成22年10月7日 ～12日		いちき串木野市制5周年記念訪問団 (デニス・ダナヒュー市長・協会長・副会長3名)
2011	平成23年7月18日 ～26日		第11回サリナス市高校生 来市 (高校生8名・引率2名)
2012	平成24年8月6日 ～21日	第12回中高生米国派遣 (中学2名・高校6名・引率2名)	
2013	平成25年7月9日 ～17日		第12回サリナス市高校生 来市 (高校生8名・引率2名)
2014	平成26年2月1日 ～8日	姉妹都市35周年親善訪問団 (田畑市長・下迫田議長一行 20名)	
	平成26年8月5日 ～19日	第13回学生米国派遣 (中学1名・高校6名・大学1名・引率1名)	
2015	平成27年7月14日 ～20日		第13回サリナス市高校生 来市 (高校生7名・引率2名)
	平成27年10月9日 ～12日		いちき串木野市制10周年記念訪問団 (サリナス協会長一行10名)

西暦	年 月 日	いちき串木野市	サリナス市
2016	平成28年8月9日 ～24日	第14回中高生米国派遣 (中学1名・高校7名・引率2名)	
2017	平成29年7月11日 ～18日		第14回サリナス市高校生 来市 (高校生9名・引率2名)
2018	平成30年2月11日 ～17日	姉妹都市39周年【サンキュー】 記念訪問団(湯永協会長一行9名)	
	平成30年8月7日 ～21日	第15回高校生米国派遣 (高校生8名・引率2名)	
2019	平成31年1月29日 ～2月5日	姉妹都市40周年記念訪問団 (田畑市長・平石議長・湯永協会長 計12名)	
	令和元年7月9日 ～16日		第15回サリナス市高校生 来市 (高校生10名・引率2名)
2020	—	新型コロナウイルス感染症の 影響により派遣中止	

【受入・派遣事業】

ホームステイ事業や親善訪問事業は、事務局の「いちき串木野市サリナス市姉妹都市協会」が行っています。当協会は、国際感覚豊かな青少年を育成するとともに両市民が世界平和と繁栄に貢献することを目的とし、中高生派遣・サリナス市から受入(隔年おき)や親善友好訪問団の派遣・受入(5年間隔)を実施しています。その他にも、串木野さのさ踊り(市中流し)の参加など地域貢献活動も行っており、2008年には長年の功績が認められ、財団法人自治体国際化協会(CLAIR)主催による姉妹自治体交流表彰にて、総務大臣賞を受賞しました。



第1回親善使節団訪米
～サンフランシスコにて～



第1回サリナス市高校生 来市
～歓迎レセプション～



第 8 回サリナス市高校生 来市
～北米集団移住記念碑にて～



第 10 回中・高校生米国派遣団訪米
～老人ホームにて～



第 9 回中高生米国派遣団 訪米
～レタス収穫体験～



姉妹都市盟約約 35 周年親善訪問団訪米
～スタインバックハウスにて～



第 13 回サリナス市高校生 来市
～さのさ祭りにて～



第 14 回中高生米国派遣団
～サリナス市役所にて～

【派遣生体験談】

○第 15 回派遣生 木場 航太郎さん

2018 年の夏、私は派遣団の一員として渡米しました。振り返ると、渡米前から期待に胸を弾ませていました。多くの荷物と長いフライトを終えカリフォルニアに着くと、景色や雰囲気の違いから、異国の地にいることを実感しました。現地では、数多くの映画に登場するハリウッドやサンフランシスコにあるゴールデンゲートブリッジ、サンタモニカビーチなどの観光名所を訪れました。米国滞在期間中、数多くの出会いや様々な体験をさせて頂きました。特に印象に残っている思い出は、「サリナス市で過ごした 1 週間」です。

ホームステイ中は、朝食はシリアル。夜は BBQ やたくさんの人たちとパーティーに参加といった、私が憧れていた「アメリカの日常生活」を体験することができました。また現地の高校の日本語の授業を見学し、日本語教師になりたいと強く思いました。現地の方々との交流を通して、自身の人生観や価値観が大きく変わりました。今でも当時お世話になった現地の先生や学生と連絡を取っており、日本語学習者のお手伝いをさせて頂いています。このような貴重な体験をさせて頂き、感謝しています。

【ホームステイ受入体験談】

○竹下 佳芳さん（照島小学校 5 年生）

2019 年の夏、初めて私たち家族がホストファミリーをすることになりました。私の家にアメリカの高校生が 1 週間過ごすのです。ウキウキしながら家族全員で、客間の大そうじをして、布団の準備などをしてその日を待ちました。最初の日、お父さんとお母さんが、ホストシスターのカーリーをむかえに行きました。家に初めて来たときはとてもうれしかったけど、お客さんが来たみたいで少しきん張していました。母は、英語でカーリーと話をしていましたが、姉と私にとって英語での会話はむずかしく、思うように話すことができませんでした。しかし気がつくと、一緒にトランプをしたり、絵をかいたり、算数の勉強も教えてもらったりするようになりました。カーリーが小学校に遊びに来た時は、自分のお姉さんが来たような気分がとてもうれしかったです。日が経つにつれ、私も知っている簡単な英語を使って、頑張って話をするできるようになりました。桜島に家族で行ったときに、カーリー、姉と私が三姉妹と間ちがわれて、本当の家族みたいに見えたのかな～とびっくりしました。楽しかった 1 週間はあっという間に過ぎてしまいました。カーリーが泊っていた部屋を片付けながら、今度はいつか私がカーリーに会いにアメリカに行きたいなと思いました。

【北米移住・姉妹都市交流に関するスポット】

☆米国集団移住者顕彰碑



○設置日：1998年(平成10年)11月

○設置場所：いちき串木野市

市民文化センター敷地内

☆当時、北米集団移住された鹿児島県出身者の功績を称え作成、設置されました。除幕式では、移住された方々や多くの関係者にご参列いただきました。

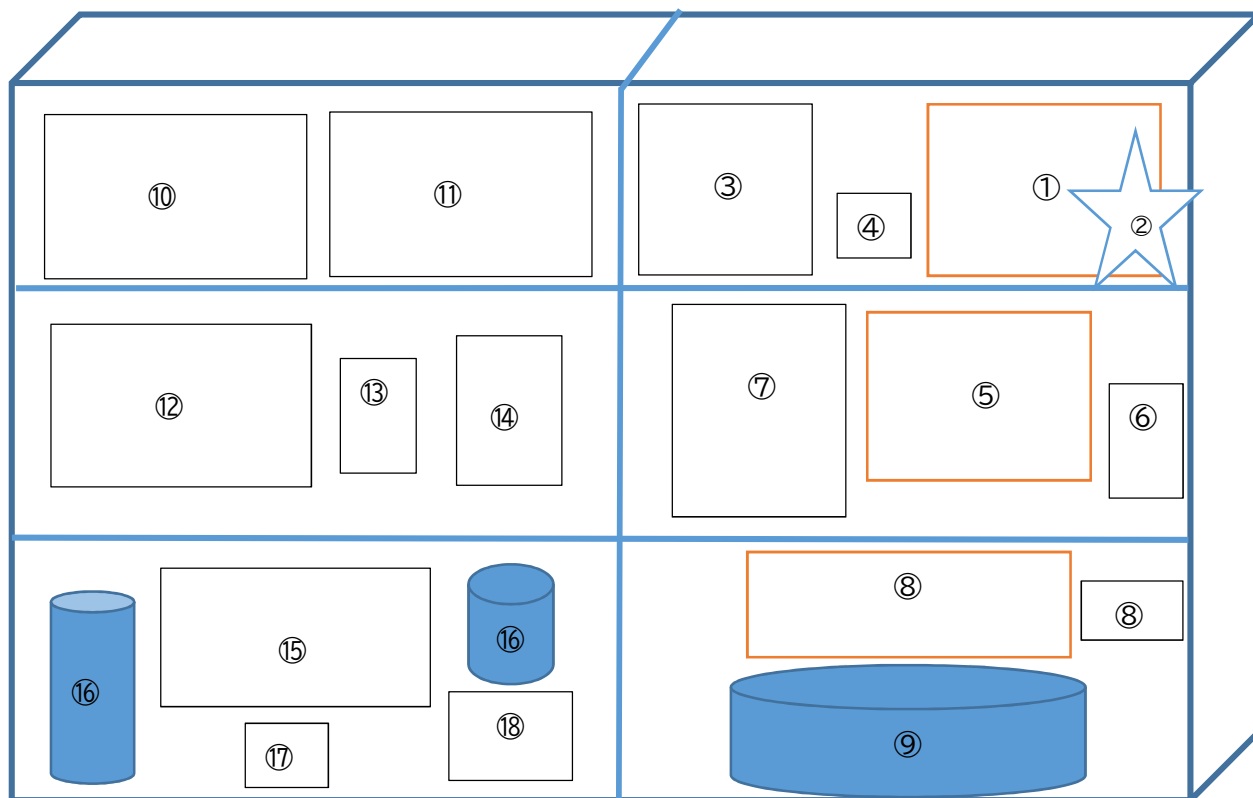
☆国際交流ショーケース(常設展示)



○場所：いちき串木野市役所
串木野庁舎1階玄関入口

☆姉妹都市協定書や記念品など、サリナス市との姉妹都市交流についてご覧いただけます。

～～ ショーケース内レイアウト図 ～～



- ①姉妹都市盟約書(昭和 54 年)②協定締結時の様子(写真)③サリナス市との交流
 ④いちき串木野市サリナス市姉妹都市協会 ⑤姉妹都市盟約書(平成 18 年)
 ⑥いちき串木野市⇄サリナス市(総距離) ⑦サリナス市の主なイベントや建築物
 ⑧総務大臣賞(平成 21 年) ⑨市制施行 10 周年記念品 ⑩渦永耕一氏 ⑪内田善一郎氏
 ⑫米国集団移住者顕彰碑 ⑬移民政策時に発行されたパスポート ⑭パスポート拡大写真
 ⑮スタインバック生家 ⑯ロデオ像 ⑰ロデオ参加記念品 ⑱サラダボウル

☆サリナス市訪問団と桜（市役所串木野庁舎正面駐車場敷地内:計 5 か所）



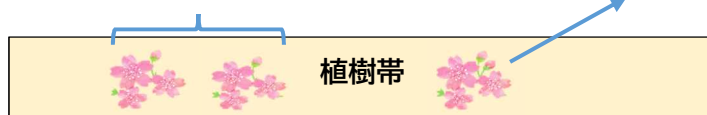
串木野市・サリナス市姉妹都市盟約
10周年記念樹
(1989年4月)



いちき串木野市誕生記念
サリナス市訪問団記念植樹
(2006年2月)

1989年(平成元年):
姉妹都市盟約10周年記念樹

2006年(平成18年):
いちき串木野市誕生記念樹



【お問い合わせ先】

☆受入家庭&派遣生募集に関するお問い合わせ



☆ いちき串木野市サリナス市姉妹都市協会 ☆

住所:いちき串木野市旭町 178(いちき串木野商工会議所内)

連絡先:TEL 0996-32-2049 FAX 0996-32-9891

※※詳しくは、LINE/Facebook/ホームページにて検索♪※※

facebook



LINE
公式アカウント



ホームページ



☆国際交流に関するお問い合わせ



☆ いちき串木野市国際交流協会 ☆

住所:いちき串木野市昭和通 133 番地 1 (企画政策課内)

連絡先:TEL 0996-33-5628 FAX 0996-32-3124

facebook



ホームページ



※※詳しくは、Facebook/ホームページにて
「いちき串木野市国際交流協会」で検索♪※※

【参考資料】

◎国際交流におけるキーパーソンの役割

—いちき串木野市とサリナス市の間の姉妹都市交流と内田善一郎— 片野田 優子

◎ポスト占領期における日米間の移民とその管理

—一人の移動の1952年体制と在米日系人社会— 南川 文里

◎The Steinbeck House

(<http://steinbeckhouse.com/>)

◎National Steinbeck Center

(<https://www.steinbeck.org/>)

◎John Steinbeck Library

(<https://salinaspubliclibrary.org/about/john-steinbeck-library>)

◎California Rodeo Salinas

(<https://www.carodeo.com/>)

◎California International Airshow

(salinasairshow.com)

◎The City of Salinas

(<https://www.cityofsalinas.org/>)

◎いちき串木野市

(<http://city.ichikikushikino.lg.jp>)

◎いちき串木野市サリナス市姉妹都市協会

(<https://ichikikushikinosalinas.amebaownd.com/>)

◎財団法人自治体国際化協会

(<http://www.clair.or.jp/>)

Boys and Girls, Be Ambitious!



第 15 回本市とサリナス市派遣生～歓迎レセプションにて～

作成日:令和 3 年 2 月